2014年10月23日
株式会社博報堂

【地域しあわせラボ リサーチレポート第3号】

－博報堂、慶応義塾大学前野隆司教授との共同研究「地域しあわせ風土調査」－

地域の幸福度を後押しする地域エレメント
1位は「地域活動の機会や支援制度」、2位「景観、まちなみ」、3位地域の知名度。

株式会社博報堂のソーシャルデザイン専門組織　hakuhodo i+dは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科（前野隆司研究科委員長／教授）らと共同で、地域の幸福度を測定するオリジナル調査「地域しあわせ風土調査」を、全国15,000人を対象に実施し、その調査結果を報告するリサーチレポート「ローカル・ハッピネス」第3号を発行いたしました。

●幸福度と相関性が高い、地域活動の機会や支援制度

第3号のテーマは「しあわせな地域には何があるのか」。地域生活を左右する40のエレメント（環境、インフラ、サービス、生活条件等）と地域の幸福度の相関を分析したところ、最も幸福度と相関性が高い項目は地域活動の機会、支援制度であることが明らかになりました。
第2号で友人の数、所属団体の数と幸福度に関係が深いことが明らかになったように、他者と交流しともに活動する機会が豊かな地域であればあるほど、住民の幸福度が高いようです。また、2位に景観・まちなみ、3位に地域の知名度、4位に国際性があがるなど、地域のブランド力、情報発信力が高いことも地域の幸福度と関連が高いという結果となりました。
一方、「雇用や働き口」は40項目中31位であり、都道府県別のしあわせ風土スコアと給与額は負の相関関係にあるように、人のしあわせと金銭的な豊かさには関係性があまりみられませんでした。

『地域しあわせラボ』では、今後人口減少が急激に進む日本、地域における住民のしあわせの本質と構造を調査・研究し、今回の「地域しあわせ風土調査」をベースに、全国の自治体向けに、住民の幸福度を最大化するために必要なまちづくりや地域ビジョン・総合計画づくりを支援する調査・研究・コンサルティングサービスを提供してまいります。
また、リサーチレポート「ローカル・ハッピネス」は月１回のペースで今後も発表してまいります。

地域しあわせ風土スコアとの相関が高い地域エレメントランキング

1位	地域活動の機会や支援制度	0.603
2位	景観、まちなみ	0.591
3位	地域の知名度	0.549
4位	国際性、外国人の受け入れ	0.535
5位	公園、スポーツ施設	0.532
6位	商店街・中心市街地	0.525
7位	地域の暮らしに関する自治体の情報提供	0.523
8位	お祭り、イベント	0.515
9位	高齢者支援の施設や制度	0.514
10位	レジャーや娯楽のための施設や制度	0.505

*47都道府県別のしあわせ風土スコアと全40の地域エレメント項目の相関係数を算出し、その上位を掲載

「ローカル・ハッピネス」に関するお問い合わせ：hakuhodo i+d 筧（TEL：03-6441-7752）
地域しあわせラボの詳細とレポートは　http://issueplusdesign.jp/project/local-happiness/
報道関係者様からのお問い合わせ：博報堂 広報室 西尾・江渡（TEL：03-6441-6161）

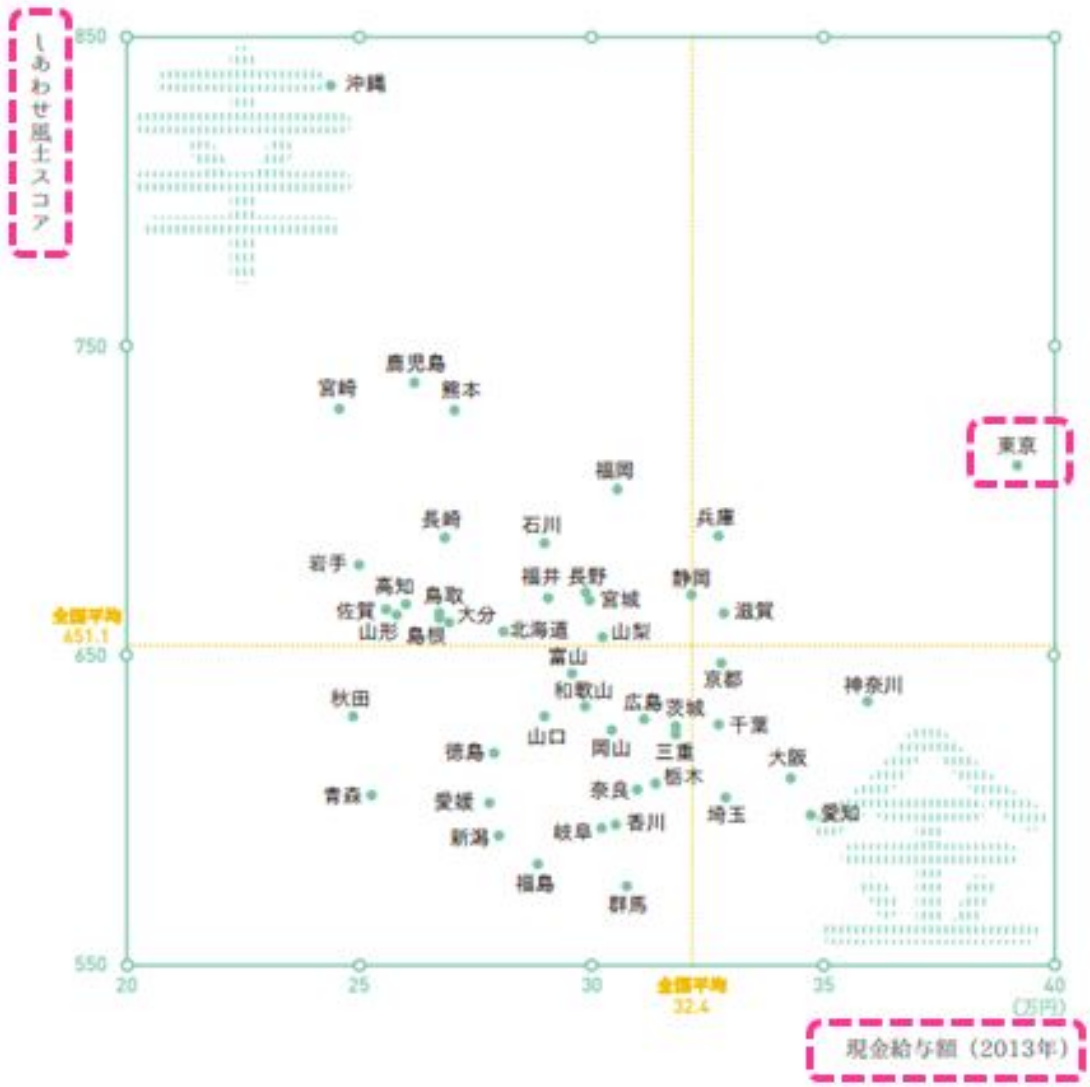
【参考資料1】

地域エレメント（環境、インフラ、政策、生活条件他）と
地域しあわせ風土スコアとの相関度ランキング

1位	地域活動の機会や支援制度	0.6034
2位	景観、まちなみ	0.5913
3位	地域の知名度	0.5486
4位	国際性、外国人の受け入れ	0.5350
5位	公園、スポーツ施設	0.5318
6位	商店街・中心市街地	0.5255
7位	地域の暮らしに関する自治体の情報提供	0.5230
8位	お祭り、イベント	0.5149
9位	高齢者支援の施設や制度	0.5136
10位	レジャーや娯楽のための施設や制度	0.5051
11位	小学校・中学校・高校の施設や制度	0.4976
12位	公務員（行政職員）の対応やサービス	0.4888
13位	買い物や飲食の店舗の質と量	0.4796
14位	障害者支援のための施設や制度	0.4775
15位	電気、ガス、水道などの生活インフラ	0.4675
16位	公民館、コミュニティセンターなどの交流施設	0.4658
17位	医療、健康のための施設や制度	0.4561
18位	出産・育児支援のための施設や制度	0.4263
19位	治安、犯罪防止のための施設や制度	0.4150
20位	ごみ処理、リサイクルの施設や制度	0.4118
21位	地震、水害、火事等防災のための施設や制度	0.4048
22位	社会人教育、生涯教育の施設や制度	0.3951
23位	大学・大学院・専門学校の施設や制度	0.3798
24位	メディアや通信環境（テレビ、新聞、電話、インターネットなど）	0.3686
25位	電車、バスなどの公共交通インフラ	0.3660
26位	地場産業、地元企業支援の施設や制度	0.3596
27位	省エネ、低CO2、環境保護への取り組み	0.3534
28位	美術館・博物館	0.3346
29位	住宅の数（供給量）や広さ	0.3160
30位	寺、神社、史跡などの歴史遺産	0.2943
31位	働き口・求人の質や量	0.2859
32位	図書館	0.2724
33位	道路などの自動車交通インフラ	0.2347
34位	天候（年間の天気や気温）	0.2192
35位	工芸品、工業製品などの質	0.1500
36位	日用品の価格、物価	0.0775
37位	農産物、水産物など食材の質や食文化	0.0015
38位	家賃や土地の価格	-0.0556
39位	水、空気の質	-0.1287
40位	山、川、海などの自然環境	-0.1732

【参考資料2】
47都道府県別
地域しあわせ風土スコアと現金給与額の関係性

下の散布図は縦軸にしあわせ風土スコアを横軸に都道府県別労働者一人当たりの月額の現金給与額をプロットしたものです（平成25 年賃金構造基本統計調査「都道府県別きまって支給する現金給与」）。相関係数は-0.446 と負の相関（給与が高いほどしあわせ風土スコアは低い傾向）が見られます。左上の給与が低く、しあわせ風土スコアが高い沖縄、右上の給与が高く、しあわせ風土スコアも高い東京がぽつんと目立ちます。



【参考資料3】

「地域しあわせ風土調査」調査概要

調査地域： 全国47 都道府県
調査時期： 2014 年2 月28 日～ 3 月10 日
調査方法： インターネット調査
調査対象者：20歳から64 歳までの男女、現在の地域に3年以上お住まいの社会人
サンプル数：15,000 * 各都道府県300 サンプル（北海道のみ道東・道央・道南・道北　各300）、
男女各150 名、20 - 34歳・35 - 49 歳・50 - 64 歳 各100 名

「地域しあわせ風土スコア」

５つのしあわせ指標（感情・意欲・気持ち）を日常どの程度感じるかの「風スコア」と、
それぞれの指標を後押しする土壌、風土がどれくらいあるかの「土スコア」を足し上げ算出。

地域のしあわせ５因子

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科（前野隆司研究科委員長／教授）と共同開発した、人が地域で幸せな人生を送るために必要な５つの心構え、気持ち、行動姿勢。

・やってみよう指標：熱中できる・得意なものがあり、目標に向けて頑張る
・ありがとう指標：人とのつながりを大切にし、感謝の気持ちを忘れない
・あなたらしく指標：人の目を気にせず、自分の信じたことをやりとげる
・なんとかなる指標：失敗や嫌なことにくよくよせず、前向きな気持ちで行動する
・ほっとする指標：毎日の生活や将来に対して不安を感じない

「地域しあわせ風土スコア」の算出方法

10 の質問の５段階評価（非常によく当てはまる／少し当てはまる／どちらともいえない／　あまり当てはまらない／全くあてはまらない）のトップ２ボックス（非常によく当てはまる　＋少し当てはまる）の合計パーセントを足したものを「地域しあわせ風土スコア」（「風」「土」それぞれのスコアを加算）と定義。

【「風」10 の質問】

■ やってみよう指標
1. 得意としていることがある
2. 何か、目的・目標を持ってやっていることがある

■ ありがとう指標
3. 人を喜ばせることが好きだ
4. いろいろなことに感謝するほうだ

■ なんとかなる指標
5. いまかかえている問題はだいたいなんとかなると思う
6. 失敗やいやなことに対し、あまりくよくよしない

■ あなたらしく指標
7. 自分と他人をあまり比べないほうだ
8. 他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる

■ ほっとする指標
9. 現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ないほうだ
10. 自分は安全な生活を送っていると思う

【「土」10 の質問】

■ やってみよう指標
1. 自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域性、風土
2. 目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土

■ ありがとう指標
3. 助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域性、風土
4. 人間関係が豊かで、挨拶や笑顔あふれる地域性、風土

■ なんとかなる指標
5. 挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土
6. 楽観的、前向きな地域性、風土

■ あなたらしく指標
7. 人と違うこと、個性を大切にする地域性、風土
8. よそもの、若者、マイノリテイなど多様な人を受け入れる地域性、風土

■ ほっとする指標
9. 食べものや、住まいには困らない地域性、風土
10. 身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土

リサーチレポート「ローカル・ハッピネス」
「地域しあわせ風土調査」結果を様々な視点で分析し、レポートします。

vol.04 11月中旬　発行予定
「女性がしあわせな地域になるために」
vol.05 12月中旬　発行予定
「移住としあわせ：人はどこで暮らしたいのか？」